

令和元年10月16日
福島地方気象台

令和元年台風第19号による大雨と暴風、波浪 ～福島県災害時気象資料を作成、公表しました～

台風第19号の影響で、福島県では10月11日から13日にかけて、大雨や暴風となりました。この時の気象状況を「福島県災害時気象資料」としてまとめました。

<概況>

台風第19号は、10月12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸し、大型で強い勢力を維持したまま、関東地方を北東へ進み、13日未明には福島県を通過して明け方には宮城県沖に抜け、13日12時に北海道の南東海上で温帯低気圧となった。

福島県では、10月11日から前線の影響で雨が降り出し、12日には台風の接近により昼過ぎから激しい雨が降り、特に台風の接近・通過に伴い、12日夕方から13日未明にかけては非常に激しい雨となり、局地的には猛烈な雨となった。10月11日15時から13日6時までの総雨量は、福島県の広い範囲で200mm以上の大雨となり、川内445.5mm、福島市鷲倉382.5mm、白河373.0mmと10月1か月の平年値の2～3倍の雨量となった。

また、台風の接近に伴って海上を中心に12日昼過ぎから風が強まり、夕方からは非常に強い風となり、最大風速は、猪苗代で12日19時18分に21.1m/s、白河で13日00時24分に16.4m/sを観測した。海上や海岸では、台風からのうねりの影響で10日から波が高くなり、12日夜遅くから13日夜のはじめ頃は大きくなり、13日未明は10.0m(政府調査団資料による)の猛烈なしけとなった。

福島県災害時気象資料には、気象レーダー画像や主な地点の降水量、気象台が発表した警報・注意報などを時系列で掲載しています。

福島県災害時気象資料は福島地方気象台ホームページからご覧になれます。

福島地方気象台 HP : <https://www.jma-net.go.jp/fukushima/>

福島県災害時気象資料(令和元年台風第19号による大雨と暴風、波浪) :
https://www.jma-net.go.jp/fukushima/saigai/saigai_topics/saigaiji20191011-13.pdf

※資料の値は速報値であり、後日修正する可能性があります。

問合せ先：福島地方気象台 担当：安田
電話 024-534-0321 FAX 024-534-0383